

文化学園長野中学・高等学校 高校2年探究合同ゼミナール

〔生徒の皆様へ〕

- 「基本的人権が法律によって奪われている」という言葉がとても印象に残った。校則を変えるという活動から、「誰一人取り残さない社会」を目指すことになっており、とても素敵な活動だと感じた。また、ただ自分たちのために校則を変えようとするのではなく、民主主義によって意味を持って校則を変えようとしており、きちんと理念を持ち様々な活動を活かしている様子が分かった。
- 校則に疑問を持つことは誰でもできることだけれど、そこから校則の改定に向けて行動できたのは素晴らしいことだと思います。また、発表の中で『いかなる法やルールにも、「自分らしく生きること」は奪えない』とあったのが印象に残りました。ジェンダーの問題が注目されている現在、「自分らしく生きること」について考えられたのは大きな成果になったのではないかと思います。
- 校則に対しての疑問を自ら当事者に聞くなどをして現代の考え方が校則にあっていないという考えはとても良い気づきであると感じた。謎ルールに関しても拘束力はないのかもしれない。しかし、そのルールは何か必要があったから提唱されたものであるのかもしれないため、そのルールの背景を考えるという必要があると感じた。
- 校則の問題はどの学校でもそれぞれに難点があると思います。そういった問題について生徒の意見をただ集めて改正へと動くのではなく、それまでの学習を踏まえたうえでどうしていくべきかについて考えられていて素晴らしいと思います。生徒自身で過ごしやすい学校を目指して頑張ってください。
- 校則という1つのキーワードから、LGBTの話題まで発展させ、広い視野を持って調査を行っていたところが素晴らしいと思いました。また、目標を立てて、それを達成するためのプロセスが明確になっていて良いと思いました。
- 最後の「誰一人取り残さない社会」ですべての人が「自分らしく生きる」ための考え方を皆で学ぶというのはとてもしっくりきました。校則に関する話からルールメイキングの話に移りつつ、今自分たちが何をすべきか考えていっている過程が今後の活動にも生きてくると思います。頑張ってください。
- 誰も取り残さない、インクルーシブな考え方を、高校生活に取り入れているのが、現代社会の考え方を取り入れていていいと思いました。校則を変えようと頑張った経験は、これからの生活でも活かしていけると思います。
- 校則について様々な議論がなされているなかで、その本質に迫ろうと深く多様性の問題について考えられているのがとても良いと思いました。東京レインボープライドに参加するなど、行動力がとても素晴らしいと思いました。また、学んだことを自分たちだけにとどめず、全校生徒に共有する点や最終的に校則を変えることができた点も素晴らしいと思いました。
- 自分たちに関係している校則という問題を、今の日本にある他の問題を提示しながら話しているため、校則とは直接かわりのない人でも考えることができるようになっていたと思います。専門的な用語も使いながら、しかし発表ではわかりやすい説明ですが、高校生だなどと思いました。これからの活動も応援しています。

- 校則という身近な不満、疑問から探究活動に繋がれたことが素晴らしいと私は思いました。そこから概念的な問題の議論を進め、結果的に校内にチームを結成して実践に繋げており、私は探究活動の可能性を感じました。校則に関する問題は現在非常にホットな話題です。これからの社会を担う一員として考え続けてください。応援しています。
- ルールメイキングに関する本質のお話で包摂と公正、だれも取り残さないことと全員が正しいと思うことが大切だと感じました。もちろん時代が変わるにつれて変化させていかなければならない部分はあると思いますが、時代を越えても変わらない部分も大切にしてほしいと思いました。
- 「自分らしく生きる」をテーマに、身近なルールとして挙げられる校則に疑問を持ち、その存在意義について深く吟味し考察しながら、自分たちが主体となって改正へと活動している姿は素晴らしいと思いました。その熱意が全校へと広がっていく様子には、「動くこと」の必要性を強く感じました。
- 生徒が自然に受け入れてしまいがちな校則に着目し、自分らしく生きることについて考えていてすごいと感じた。また活動の中でインタビューを行ったり、実勢に先生に意見を求めたり、実際に男子の制服で登校したりなど実際に行動し考えている姿に感動したし、法律や民主主義などについても学習を深め、学習の幅を広げていてとても良いと感じた。
- まず話の構成やプレゼンテーションが洗練されており、聞き入ってしまいました。内容に関しても、身近な校則に疑問を持ったことから次から次へと学びが進んでいて素晴らしいと感じました。明文化されていないルールに従っていたという経験は自分にもあって今振り返ると疑問に思えけれど、現在進行形で気付くことができるというのはとても素晴らしいことだと思いました。政治家になって日本を変えて欲しいです。
- 国連本部職員や当事者にインタビューを行うことで様々なことに気付いていて素晴らしいと考える。「包摂と公正」を大切に、ルールメイキングについて知ることを通じて公正に基づく議論を行えるようになったことが素晴らしいと考える。
- 中学部からの活動を継続できるのは文化学園の仕組みも影響していると思うが、一番は生徒一人一人の校則への強い気持ちがあったからだと思った。また、民主主義の観点も取り入れて全校を巻き込んで活動をしていたため、高校生とは思えない行動力を感じた。
- データを用いて説得力を出しているのが良いと思った。SDGsの問題をそれぞれの観点から考えられており、より実践しやすいものになると感じた。現在いろいろな意味で話題のジェンダー問題について高校生の考えを世間に発信することでなにか変わるものがあると思うのでとても良い活動であると思った。
- 「自分たちなりにルールをつくってみる」という点に、小学校や中学校にない、成長と新鮮さを感じました。自分たちで考えて何かをすることはとても貴重な経験だと思います。これからも頑張ってください。
- 法の問題を、私たちに身近な校則に関連付けていてとても興味深かったです。当事者だけにしかわからない生きづらさを、こういった観点から学ぶことができるのだと感心しました。私自身、校則や法が本当に平等なのか考えてみようと思いました。

- 考えるだけでなく、行動に移すということができているのがとても素晴らしいと思います。理念を考え、その考えを全校生徒に伝えるにはどうしたらいいのかということまで考えられていてしっかりと過程を大事に行動しているのがとても良いと思いました。